平成２９年度
加古川市公開事業評価

実施結果報告書

Kakogawa City
加古川市
いつまでも住み続けたい ウェルネス都市 加古川

■目次■

第１章　実施概要

１　実施目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　１
２　実施日時・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　１
３　会場・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　２
４　実施方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　２
５　実施体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　３
６　コーディネーター及び外部審議委員・・・・・・・・・・Ｐ　３
７　市民評価員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　４
８　市民評価員ガイダンス・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　５
９　公開事業評価の周知方法　　・・・・・・・・・・・・・Ｐ　５
１０　公開事業評価の中継・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　５
１１　傍聴者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　６

第２章　評価結果

１　評価結果の区分・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　７
２　評価結果一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　８
３　評価結果の活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　８
４　評価結果等の公表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　８

（別冊）アンケート結果報告書

第１章　実施概要

１　実施目的

市が実施している事務事業の内容について、市民の視点を取り入れた公開による事業評価を次の目的で実施しました。

（１）市政に対する関心を高め、より広い市民参画を促すこと
（２）評価を通じて出た意見をもとに、業務改善に取り組み、施策に対する住民満足度の向上を図ること
（３）市民と行政との協働によるまちづくりを推進すること

２　実施日時

【１日目】平成２９年９月３０日（土）

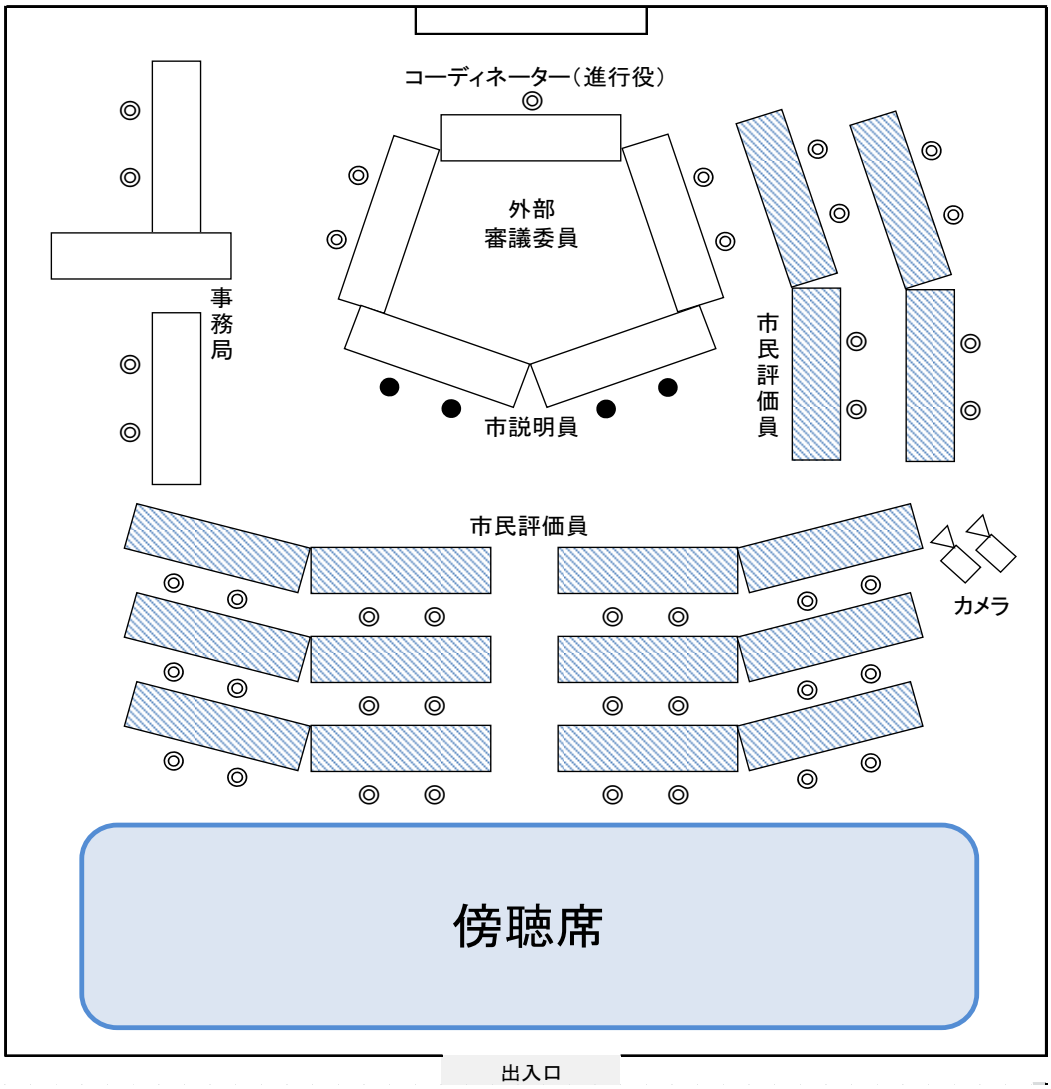
時間	対象事業	担当課
9：30～ 9：35	事務連絡等	
9：35～ 9：45	開会式	
9：50～11：05	レガッタ普及事業	ウェルネス推進課
11：05～11：20	休憩	
11：20～12：30	見土呂フルーツパーク管理運営事業	農林水産課
12：30～13：20	昼食休憩	
13：20～14：45	資源化センター管理運営事業	クリーンセンター
14：45～14：55	休憩	
14：55～15：55	防災センター管理運営事業	消防本部総務課
15：55～16：00	１日目講評	

【２日目】平成２９年１０月１日（日）

時間	対象事業	担当課
9：30～ 9：35	事務連絡等	
9：50～11：00	公共交通補助事業 うち「コミュニティバス路線運行補助金」	交通政策課
11：00～11：10	休憩	
11：10～12：10	福祉タクシー料金助成事業	障がい者支援課
12：10～13：10	昼食休憩	
13：10～14：15	障害者（児）医療費助成事業（市） 高齢障害者医療費助成事業（市）	医療助成年金課
14：15～14：30	休憩	
14：30～15：30	世代間交流学習会事業補助金交付事業	社会教育・スポーツ振興課
15：35～15：50	全体講評・閉会式	

３　会場

加古川市役所　新館１０階　大会議室



４　実施方法

市民の市政参画の機会の拡大、また評価に市民感覚を取り入れるため、公開事業評価では「市民評価員方式」を採用しました。

「市民評価員方式」とは、市職員と外部審議委員が各対象事業に対する議論を行い、市民評価員がその議論をもとに評価を行う方式です。

標準的な進行は次のとおりで、１事業あたりの所要時間は概ね１時間程度です。

順番	内　容	所要時間
1	市職員による事業の概要説明	１０分
2	外部審議委員による質疑・応答	３０分～４０分
3	市民評価員による評価	５分
4	評価結果の発表	５分

５　実施体制

公開事業評価を実施するための体制は次のとおりです。

名　称	役　割	人　数
コーディネーター	進行	１人
外部審議委員	質疑	４人
市民評価員	評価	１日目…３０人 ２日目…２１人 ※３事業目からは都合により １人欠席のため２０人
市職員	事業の概要説明、応答	３～５人程度

６　コーディネーター及び外部審議委員

コーディネーターは、評価作業の進行役として、議論をまとめる役割です。

外部審議委員は、評価作業の中で、対象事業について「行政の関与は必要か？事業は必要か？」、「今後も市が実施すべきか？」、「現在の事業内容は適正か？」といった観点から、市職員に対して質問を行い、議論をする役割です。

役割	氏名	所属等	参加日
コーディネーター	伊藤 伸	構想日本　総括ディレクター	１・２日目
外部審議委員	安藤 真	日清食品ホールディングス株式会社 技術開発部　部長	１・２日目
外部審議委員	大迫 慎太郎	三重県 農林水産部 フードイノベーション課 プロモーション促進班　主査	１日目
外部審議委員	田端 和彦	兵庫大学・兵庫大学短期大学部 副学長	１・２日目
外部審議委員	松本 小牧	豊明市 健康福祉部高齢者福祉課 課長補佐	１日目
外部審議委員	香本 なぎさ	Community Nurse Company 株式会社 事務局　保健師・看護師 コミュニティナース	２日目
外部審議委員	徳永 眞一	地方独立行政法人 市立大津市民病院 法人事務局　管理監	２日目

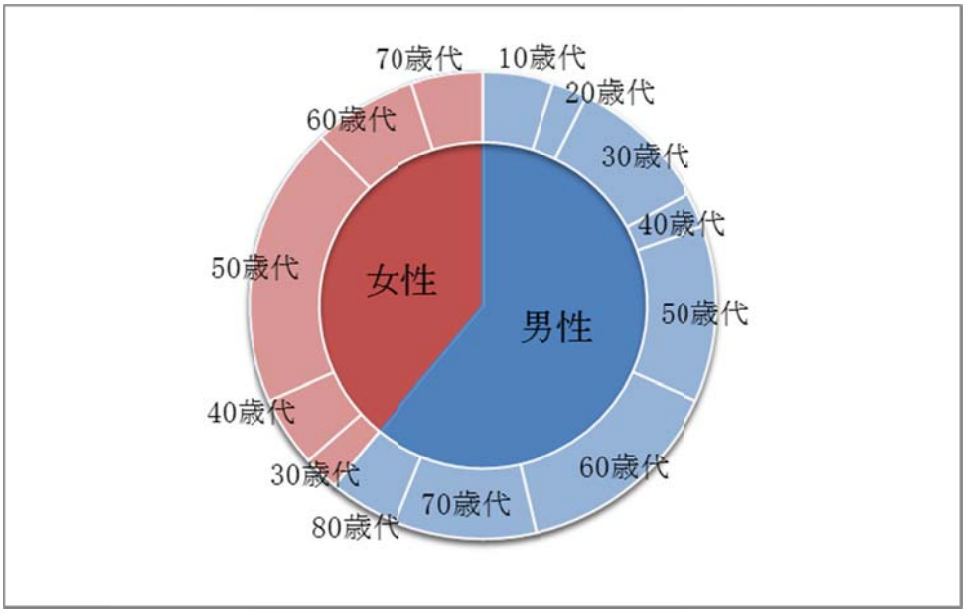
※コーディネーター及び外部審議委員は、支援機関である「構想日本」から専門的な知識を有する方を派遣いただきました。

７　市民評価員

市民評価員は、住民基本台帳から無作為に抽出した１８歳以上の市民１，５００人、及び加古川市と連携協定を結ぶ大学（兵庫大学、甲南大学）の学生に案内を送付し、参加を希望された方４１人を選任しました。

選任された市民評価員の内訳は次のとおりです。

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
男性　２５人	2	1	4	1	5	6	4	2
女性　１６人	—	—	1	2	8	3	2	—
合計　４１人	2	1	5	3	１３	9	6	2



選任された市民評価員のうち、当日は３８人に出席いただきました。

市民評価員の出席状況は次のとおりです。

【１日目】３０人

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
男性　１７人	2	1	2	—	4	3	3	2
女性　１３人	—	—	—	2	6	3	2	—
合計　３０人	2	1	2	2	１０	6	5	2

【２日目】２１人（３事業目からは都合により１人欠席のため２０人）

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
男性　１４人	2	—	2	1	2	3	2	2
女性　　７人	—	—	—	1	5	1	—	—
合計　２１人	2	—	2	2	7	4	2	2

８　市民評価員ガイダンス

公開事業評価の実施に先立ち、市民評価員を対象にガイダンスを開催しました。

（１）日時・場所　　平成２９年９月１４日（木）午後１時３０分から
　　市役所 新館１０階 大会議室

（２）内容　　①実施概要説明
　　②講演「『公開事業評価』の概要と意義」
　　講師：構想日本 総括ディレクター 伊藤 伸 氏
　　③質疑応答
　　④事務連絡

（３）出席者　　２０人

９　公開事業評価の周知方法

（１）広報かこがわ　９月号　　開催案内掲載

（２）行政情報モニター
　　平成２９年９月９日～９月３０日　開催案内掲載

（３）市ホームページ
　　平成２９年８月１８日　開催案内掲載
　　平成２９年９月２１日　資料掲載
　　平成２９年９月２８日　インターネット中継サイトＵＲＬ掲載
　　平成２９年９月３０日　１日目評価結果（速報）掲載
　　平成２９年１０月１日　２日目評価結果（速報）掲載

（４）市フェイスブック「かこがわプラス」
　　平成２９年９月２９日　開催案内掲載

（５）加古川市議会への報告
　　平成２９年７月２１日　総務教育常任委員会にて実施概要報告

（６）報道機関への記事提供
　　平成２９年９月２１日　記事提供
　　平成２９年９月３０日　１日目評価結果（速報）
　　平成２９年１０月１日　２日目評価結果（速報）

１０　公開事業評価の中継

公開事業評価の実施当日の会場の模様について、インターネット中継を行いました。視聴件数は次のとおりです。

	視聴件数（平成２９年１０月１日現在）
【１日目】平成２９年９月３０日	２０２件
【２日目】平成２９年１０月１日	５９件

１１　傍聴者数

傍聴者は、市内、市外をあわせて２日間で延べ３４人でした。

内訳は次のとおりです。

傍聴者数	地域別内訳	性別内訳	年齢別内訳
１日目 ２１人	市内　１８人 市外　３人	男性　１６人 女性　５人	２０歳代　１人 ３０歳代　３人 ４０歳代　３人 ５０歳代　８人 ６０歳代　５人 ７０歳以上　１人
２日目 １３人	市内　１３人 市外　０人	男性　１０人 女性　３人	２０歳代　１人 ３０歳代　０人 ４０歳代　４人 ５０歳代　２人 ６０歳代　４人 ７０歳以上　２人
合計 ３４人	市内　３１人 市外　３人	男性　２６人 女性　８人	２０歳代　２人 ３０歳代　３人 ４０歳代　７人 ５０歳代　１０人 ６０歳代　９人 ７０歳以上　３人

第２章　評価結果

１　評価結果の区分

評価は次の４区分により行いました。

区　分		内　容
A	廃止及び 抜本的見直し	事業の廃止、一時凍結又は大幅な見直しが必要
B	要改善	事業の内容や手法、事業費等に改善が必要
C	現状維持	現行通り実施
D	拡充	拡充して実施

評価は次の評価作業シートを用いて行いました。

加古川市公開事業評価　評価作業シート

記入の仕方

事業番号	○-○	事業名	○○○○○事業

評価者氏名	加古川　花子

該当するアルファベットを１つ選んで○をつけてください。

評価判定結果	主な理由（例示）
【A】 廃止及び 抜本的見直し	・行政の役割が終了している ・民間で実施可能で税金投入の必要がない ・事業の効果が無い又は低い ・目的を達成するための事業内容（手段・手法等）が適当ではない
【B】 要改善	・事業の対象や内容（手段・手法等）を見直せば、成果の向上が見込める ・事業費を縮減すべき ・自主財源確保（受益者負担を求める等）を図るべき
【C】 現状維持	・事業の対象や内容（手段・手法等）、事業費ともに現行通り実施すべき
【D】 拡充	・市民ニーズや社会情勢から、事業を拡充すべき ・対象を拡大すれば、成果の向上が見込める ・事業内容（手段・手法等）を拡大すれば、成果の向上が見込める ・事業費を拡大すれば、成果の向上が見込める

どれか1つに「○」をつけてください。複数に○を付けますと、どれを選択したかわからず、正しく評価されません。

理由コメント欄

＜選択の理由、改善内容、その他意見等＞

・民間で類似サービスが存在しているため、市が実施する必要性は低い。

・目的を達成するための事業内容は適当だが、安定して事業を継続するためには、受益者の負担割合を見直すことが必要だと考える。

・○○○をエ夫し、△△△に改めれば、事業効果が高くなると考える。

・対象者へ事業内容を上手く伝えられていない。市主催のイベントでもＰＲしてはどうか。

など

＜行政の役割として期待されること＞

＜市民の役割として期待されること＞

「主な理由（例示）」を参考に、判定の理由や意見を自由に記入してください。

２　評価結果一覧

評価結果一覧は次のとおりです。

事業番号	事業名	評価区分			
		【A】廃止及び抜本的見直し	【B】要改善	【C】現状維持	【D】拡充
１－１	レガッタ普及事業	９	１７	２	２
１－２	見土呂フルーツパーク管理運営事業	１０	１４	３	３
１－３	資源化センター管理運営事業	９	１４	７	０
１－４	防災センター管理運営事業	１	１６	８	５
２－１	公共交通補助事業 うち「ｺﾐｭﾆﾃｨﾊﾞｽ路線運行補助金」	１	８	８	４
２－２	福祉タクシー料金助成事業	６	７	４	４
２－３	障害者（児）医療費助成事業（市） 高齢障害者医療費助成事業（市）	４	６	１０	０
２－４	世代間交流学習会事業補助金交付事業	６	７	５	２

３　評価結果の活用

公開事業評価における評価結果は、市の最終判断となるものではありません。

公開事業評価のプロセスで議論された視点や意見、評価結果等を参考として当該事業のあり方や方針、手法などについて改めて検討を行い、市としての方向性を定めるとともに、業務改善に繋げていきます。

４　評価結果等の公表

市ホームページ等において、公開事業評価の実施結果及び各事業の今後の方向性についての市の方針等を公表します。